

# 進路だより

第4号

2015. 7. 18より

—入試制度改革を考える—

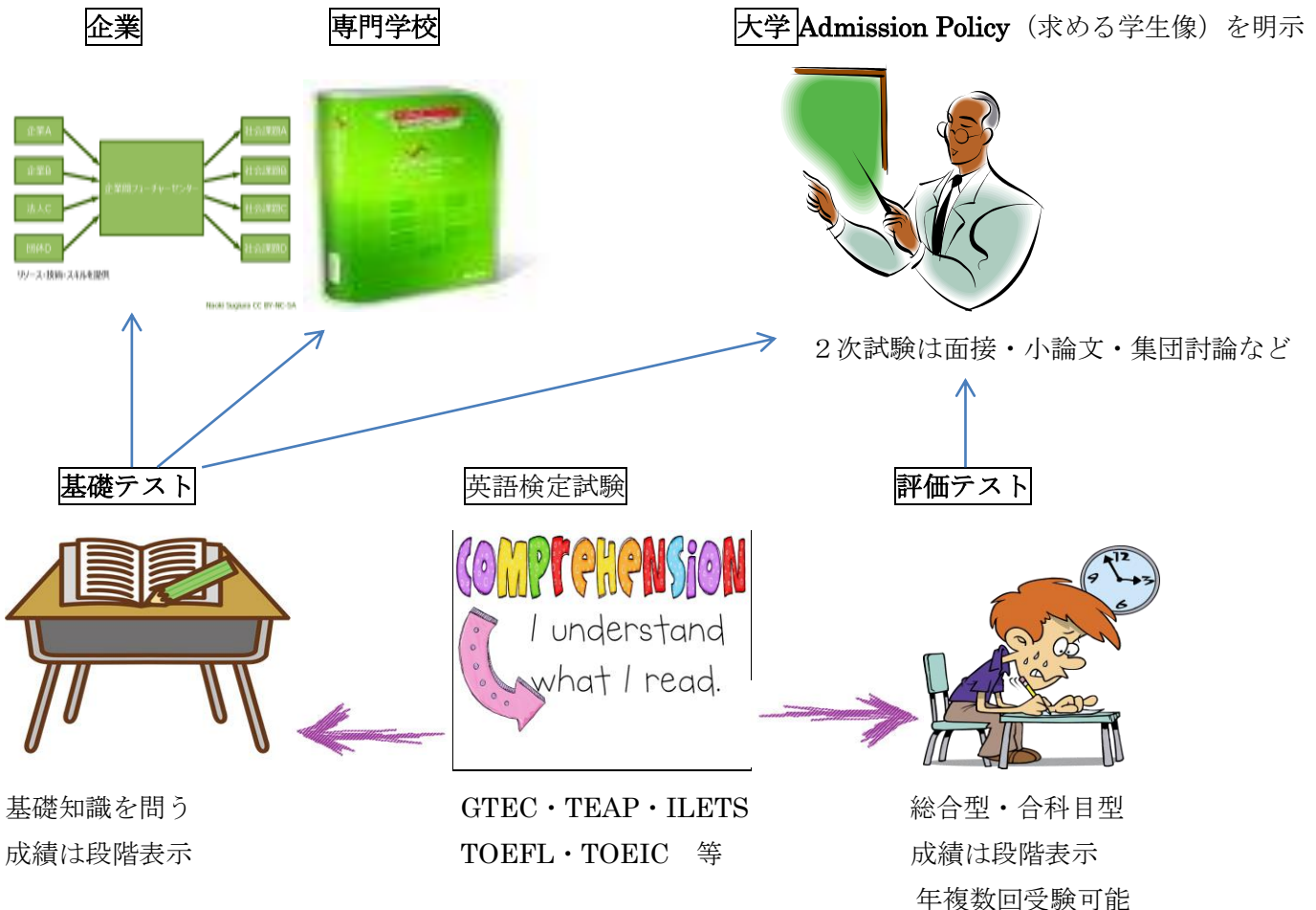
市立浦和高等学校 進路指導部

## ・新課程入試は「考え抜く力」を求めている——2016年入試で全面实施

2015年入試は数学と理科が現行の学習指導要領に移行して最初の入試となりました。センター試験では「数学ⅠA」でデータとグラフの関係を読み取る新課程らしい問題が出題され、「数学ⅡB」でも思考力を問う問題が多く出されました。理科では、教科書の内容をしっかりと読み取れているかどうかが高得点のカギを握っていたようです。そのうえで、「物理基礎」のばねについての問題等、現象について具体的に考える力を図るような問題が出されました。国公立の2次試験においても問題文を読み取って考察しなければ、公式を覚えているだけでは解けない問題が多く見られました。

また、数年続いていた理系人気に翳りがみられ、難関国立大では理系学部の志願者が減少しました。センター試験の理系科目の平均点が下がったことも原因です。国公立大は4年連続で志願者が減りました。こうした動向は2016年も変わらないであろうと予測されています。いよいよ来年は英語・国語・地歴・公民の各教科についても新課程入試が実施となり、すべての教科・科目において新課程対応の入試が実施されます。

## ・大学入試改革「知識偏重から議論し考える教育へ」——2020年度（現中学1年生の大学入試の年）より



現行のセンター試験に代わるものが評価テストで、大学教育を受けるために必要な能力を把握するものです。マークシートに記述式答案を加えることも検討されていますが、公平・迅速な採点ができるのか、疑問視されています。「評価テスト」も「基礎テスト（高2から受けられる）」も複数回受けて1番いい成績を提出することができます。結果は両テストとも段階別表示です。しかし、段階を区分するのも1点の違いであるので、結局1点刻みの評価から逃れられないのでは、という批判もあります。それでは、何のためにこのような大改革を行うことになったのでしょうか。

ひとつには日本の大学の世界の中での地位を上げたい、ということが挙げられます。下村文部科学大臣によると、国として世界大学ランキングベスト100に10校が入ることを目指すのだそうです。現在は東大と京大の2校のみしかランクインしていません（英国の教育専門誌 *Times Higher Education*）。そして東大でさえもさまざまな危機感を抱いています。東大医学部からはノーベル賞受賞者が出ていませんが、入学時点で東大よりやさしいはずのシカゴ大学からは89人のノーベル賞受賞者が出ています。五神東大総長は、「相手の立場に立ち、他者を感じる力が昔より落ちている」ように感じています。「昔は小中学校で境遇が違うさまざまな人と出会う機会がありましたが、最近は似た環境で同じような育ち方をした学生が増えました。」（AERA 2015,3,16）ということで、もうひとつには、テクニックとしての受験が進化しすぎてしまい、都内の恵まれた家庭の子ばかりが受験する中学受験問題を含めた受験問題への反省があるようです。

以上、理想的に改革が実現すれば素晴らしいことですが、制度設計が追いつくのかどうかかわからず、現場では不安も広がっています。しかし実際このような方向へと年々入試が変わっていく中で、できる限りの準備をして受験を迎えるほかはありません。

## ・夏休みの学習について —— テストの復習、宿題、教科書の復習が受験勉強に直結

それではこれからは計算練習や漢字・英単語の書き取り等の量をこなす型の勉強はしなくてよいのか、ということ、そうでもありません。自分の頭で考えることだけでなく、知識を身につけ、技能を磨くことも同様に大切です。中1以外の皆さんはセンター試験を受けるので、この夏休みから思考力中心の勉強に切り替えるのだと言い訳して、基本的な学習をおろそかにしないようにしましょう。

まず、定期考査の復習をしましょう。期末考査は試験後の授業がなく、返却されたのみであるので、答え合わせもしていない人がいるかもしれません。間違えた箇所が授業や教科書で分かっていたところであり、あなたの弱点です。そのままわからないままに放置しないようにしましょう。復習するかしないかで記憶に定着する割合はまったく違ってきます。実力テストでできなかった所も確認しておきましょう。1, 2年生はまだ入試が目前に迫っていないので実感がわからないかもしれませんが、今学校で勉強していることが、受験勉強に直結します。たとえば、英語について言うとセンター試験の範囲はEE IとEC I・EC IIです。ですから1, 2年次で授業の予習復習をしっかりと教科書の内容を完璧に理解していれば、センター試験の英語は満点が取れるわけです。

英語のみでなく他の教科でもセンター試験は教科書の範囲からの出題です。国公立の2次試験や私立大学の入試も基本的には高校で学習した教科書の内容からの出題です。要するに、大学入試は教科書の範囲から出題されるもので、試験問題は教科書に載っている内容か、それを組み合わせたものがほとんどです。確かにそれ以上の知識が必要な問題もありますが、そのような場合も教科書程度の内容を理解していることが前提です。

ということで、宿題をして一斉テストに備えたら、あとは教科書を読んで苦手な科目の復習をしましょう。たくさん参考書や問題集を買い集めたり、基礎もできていないのに難易度の高い問題を解こうとしたりするのは逆効果です。部活動で忙しい人は2学期の予習も進めておくと、今後の学習が楽になります。まず、おおまかでよいので計画を立て、夏休みの勉強に取り組みましょう。